

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福島県矢吹町			代表者名	蛭田 泰昭
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画・デジタル推進課	連絡先電話番号	0248-21-9110
担当者役職	副課長	担当者氏名	菅野 洋司	連絡先E-mail	
住所	969-0296 福島県矢吹町一本木101番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタル田園タウン研究会
概要	デジタル田園タウン研究会は、10万人未満の小規模自治体のスマートシティ化を実現させることを目的として令和4年度に立上げ、具体的施策と取組みに向けた課題等について、知見の獲得、情報共有、意見交換を行っています。金子様には、当研究会のアドバイザーとして、各種助言とともに関係する行政・団体組織の事例紹介を引き続きお願いしたい。		
支援を求める分野	オープンデータ 自治体システム標準化・共通化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム 防災 教育情報化/情報教育 スマートシティ その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	22	令和6年5月30日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年5月16日	支援・助言	15時30分	16時55分	
				活動時間（分）	85

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	金子 春雄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「生成AIを活用したつくば市議会の議事録可視化検証」をテーマに、生成AIに関して各自治体の取組みの現状と今後のあり方について、課題感や問題意識等ディスカッションを行った。そのなかで、事例を交えながらの助言をいただくなど知見を得ることができた。また、アドバイザー自身のこれまでの経験を踏まえ、アドバイスをいただくことができた。
アドバイザーへの要望事項	今後の支援も期待する。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	12人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	6		6	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	生成AI活用における自治体の取組みの現状と今後のあり方。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	生成AI活用における課題を整理しながら、AIを活用した行政サービスの向上を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自治体においては、将来を見据え、リスクへの対応、活用サポート、ユースケース開発といった取組みを続けつつ、日々進化する生成AIの恩恵を享受できる環境を整えておくことが重要。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	生成AI技術を活用し、住民の意見が示されたテキストデータ(議会の議事録等)から、住民の要望や課題を自動的に抽出・分類・可視化し、関連する他のデータと組み合わせることで、住民ニーズに即した新しい行政運営及び住民向けサービスを企画提案する事例紹介をとおし、データ連携基盤を活用した住民参加型の行政サービス提供の実現可能性について検討を進めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 具体的な成果物は特になし	③現段階では課題・問題が残っているため未定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的事例のさらなる検討	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ディスカッションが目的であったため行わなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 今後の具体的な計画は特になし	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	データ連携基盤を活用した自治体DX・スマートシティ導入の先行モデルとなること。連携基盤上のサービスとして、町の将来につながる行政サービスの提供。	

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在して

具体的にご記入下さい
支援を受けた事業が成
(自治体側に内在してい

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

